

甲賀市女性活躍まちづくり オンラインアンケート調査結果報告書

1. 調査実施概要

新型コロナウイルス感染症予防対策により自粛生活を余儀なくされる日々が続く
中、滋賀県では令和2年5月14日に緊急事態宣言が解除されました。

このような状況下において、特に女性への仕事・家事・子育てなどの負担増が懸念
されています。

甲賀市では、女性の活躍をサポートすることが地域の活力につながると考えていま
す。今回、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という非常事態において、主に甲賀
市在住の女性の抱える課題を把握し、女性が活躍できるまちづくりにむけた施策を検
討するため、アンケートを実施しました。

2. 調査状況

調査対象	甲賀市在住の女性 甲賀市で起業や事業を考える女性（甲賀市外在住も含む）
回答数	88件
調査方法	インターネットやSNS等による調査票入力方式
調査期間	令和2年5月20日～5月29日

3. 集計方法

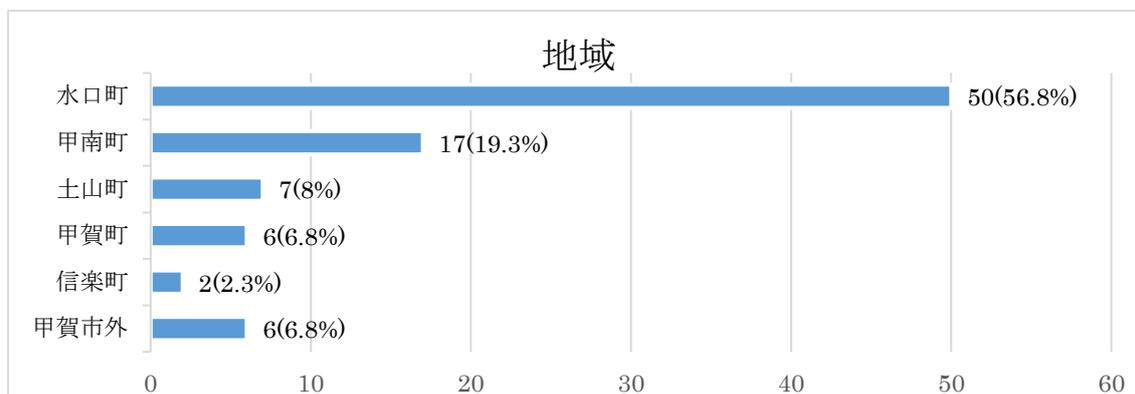
- ・1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）
および件数の合計は、100%および回答件数を超える場合があります。
- ・百分率は（%）は小数第2位を四捨五入している関係上、1つだけ回答を求める設
問（単数回答設問）では、各選択肢の百分率（%）の合計が100%にならない場合
があります。
- ・記述回答のうち、個人名および個人が特定される恐れのある記述箇所およびアンケ
ートの趣旨と異なる回答は掲載していません。

4. 回答者の属性

問1 お住まいの地域を教えてください。

回答数 88 件中

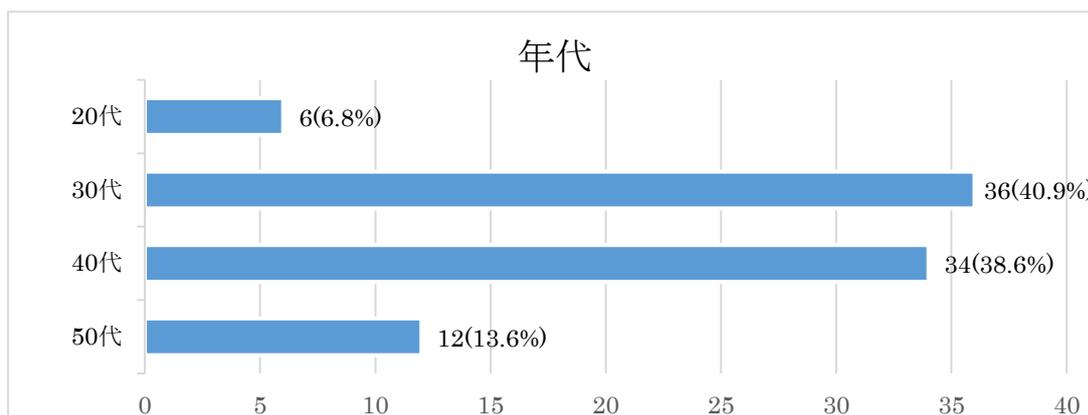
「水口町」にお住まいの回答者が最も多く、50人（56.8%）、「甲賀市外」にお住まいの回答者は6人（6.8%）でした。



問2 年代を教えてください。

回答数 88 件中

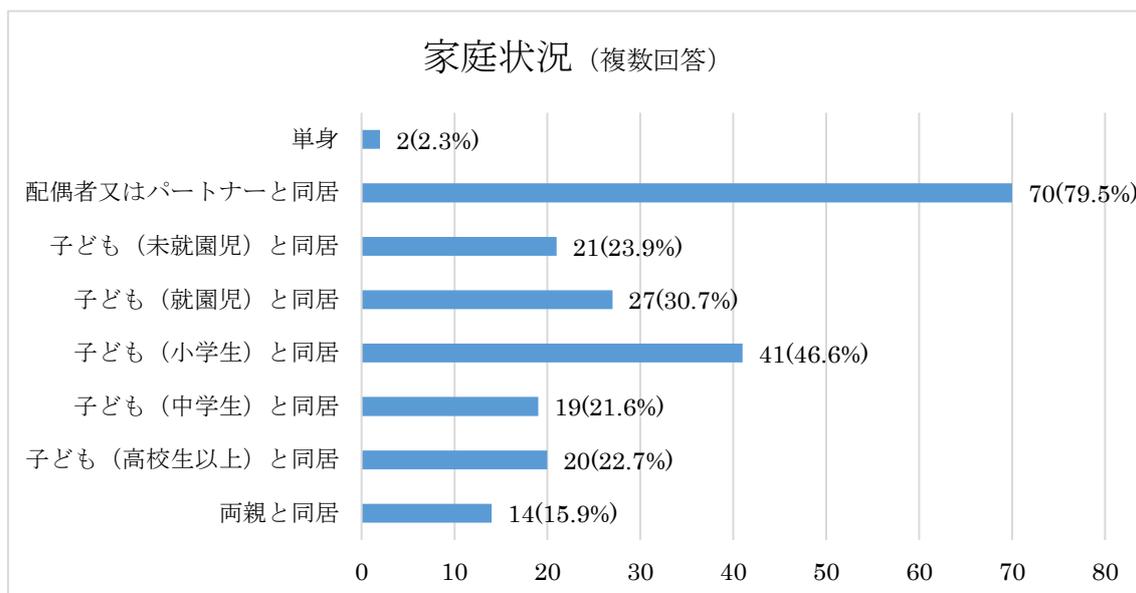
「30代」の回答者が最も多く36人（40.9%）、次いで、「40代」の回答者が34人（38.6%）であり、「30代」と「40代」を合わせると全体の79.5%となりました。



問3 家庭の状況を教えてください。例：配偶者又はパートナーと未就園児の子どもと同居の場合→「配偶者又はパートナーと同居」と「子ども（未就園児）と同居」にチェック

回答数 88 件中

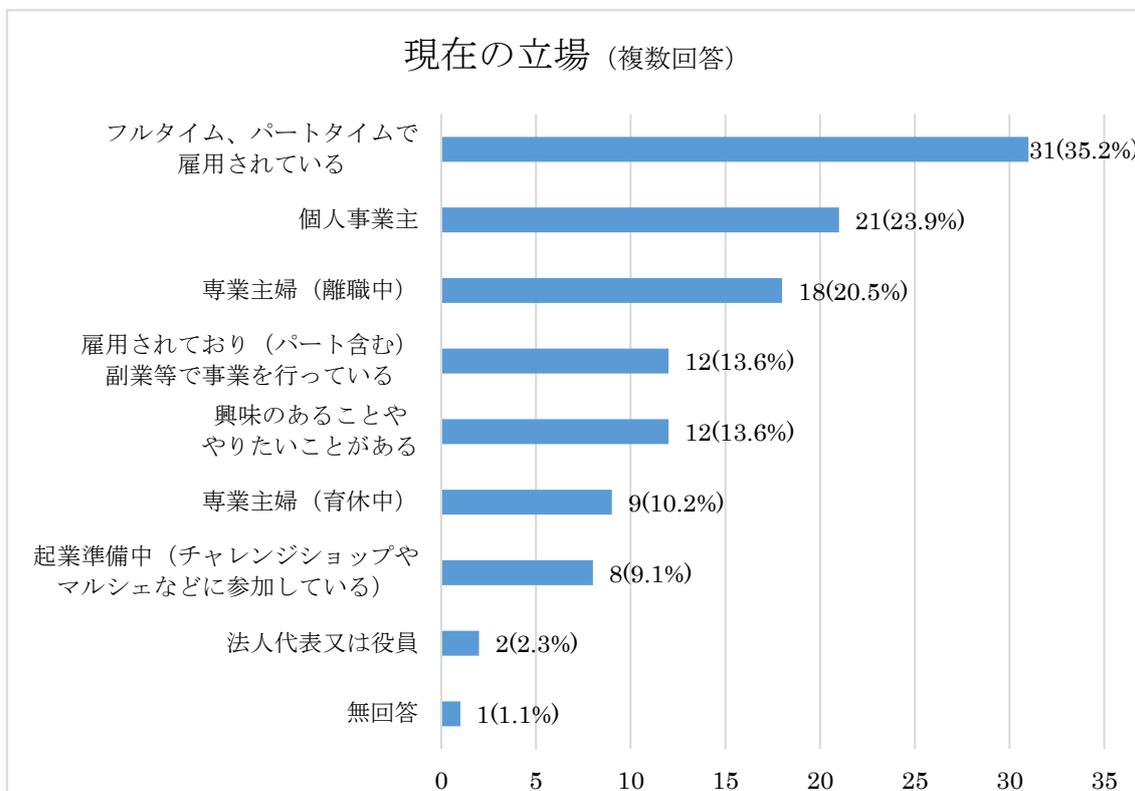
「配偶者又はパートナーと同居」の回答者が最も多く 70 人（79.5%）、「単身」の回答者は最も少なく 2 人（2.3%）でした。



問4 現在のお立場を教えてください（複数回答可）。

回答数 88 件中

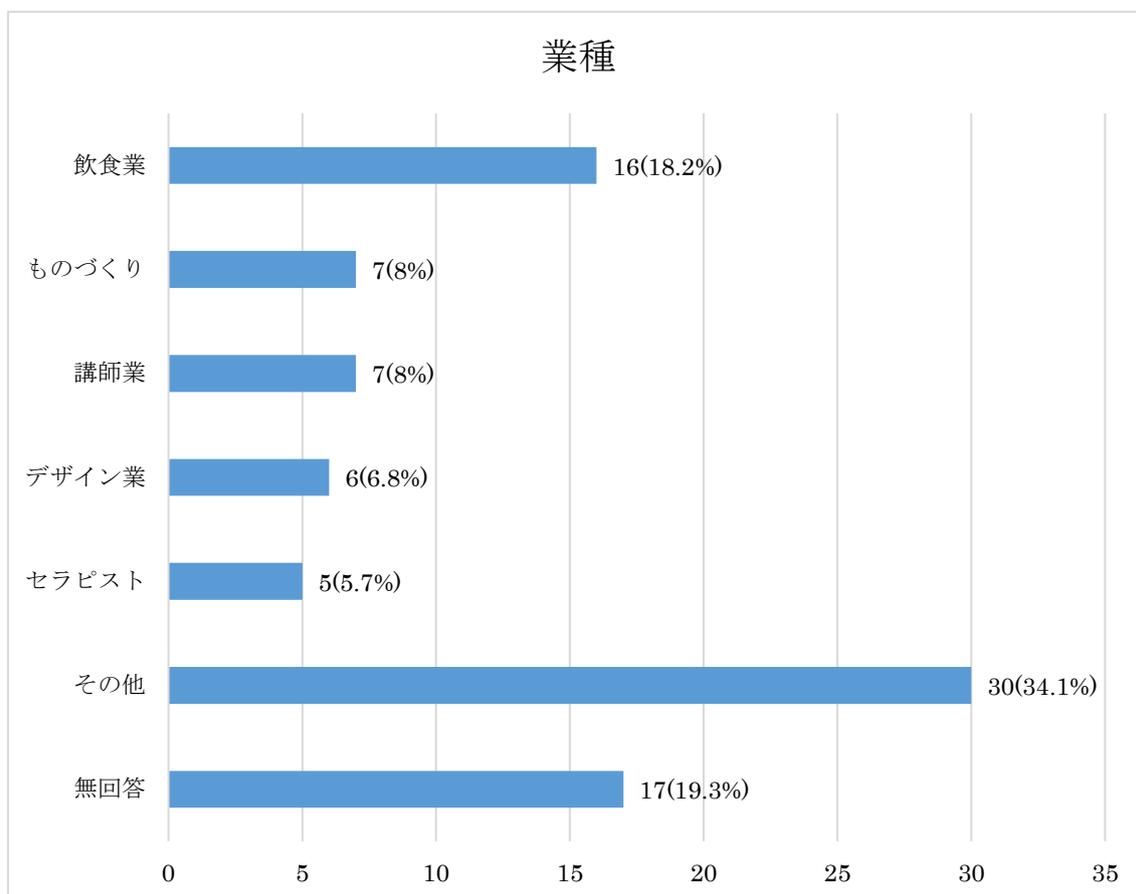
「フルタイム、パートタイムで雇用されている」の回答者が最も多く 31 人（35.2%）、次いで「個人事業主」の回答者が多く 21 人（23.9%）でした。



問5 業種を教えてください（又は、興味のある業種、今、起業準備されている業種を教えてください）。

回答数 88 件中

「飲食業」の回答者が最も多く 16 人（18.2%）、次いで「ものづくり」および「講師業」の回答者が多く 7 人（8%）でした。



■その他の内訳

- ・教諭、教育関係
- ・看護師
- ・介護関係
- ・動画編集
- ・地域コミュニティカフェ
（飲食提供、イベント、場所の貸し出しなど）
- ・PC を通しての在宅ワーク
- ・清掃業
- ・サービス業
- ・プログラマー・WEB デザイン・マルシェにて加工品の販売
- ・接客業

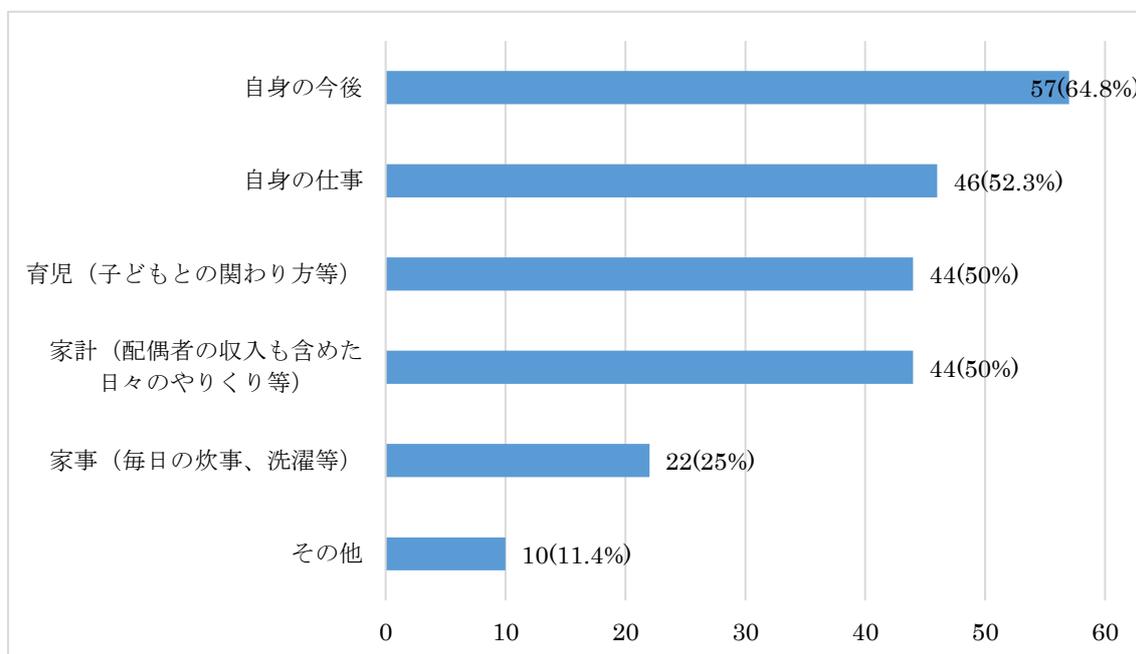
- ・事務
- ・インストラクター
- ・子育て支援
- ・建設業
- ・まちづくり
- ・現場仕事
- ・販売業
- ・国際交流、異文化交流
- ・ナレーター 声優
- ・サービスの提供と講師の兼業

5. アンケート集計結果

問6 現在、不安に感じていること、課題になっていることは何ですか？（複数回答）

回答数 88 件中

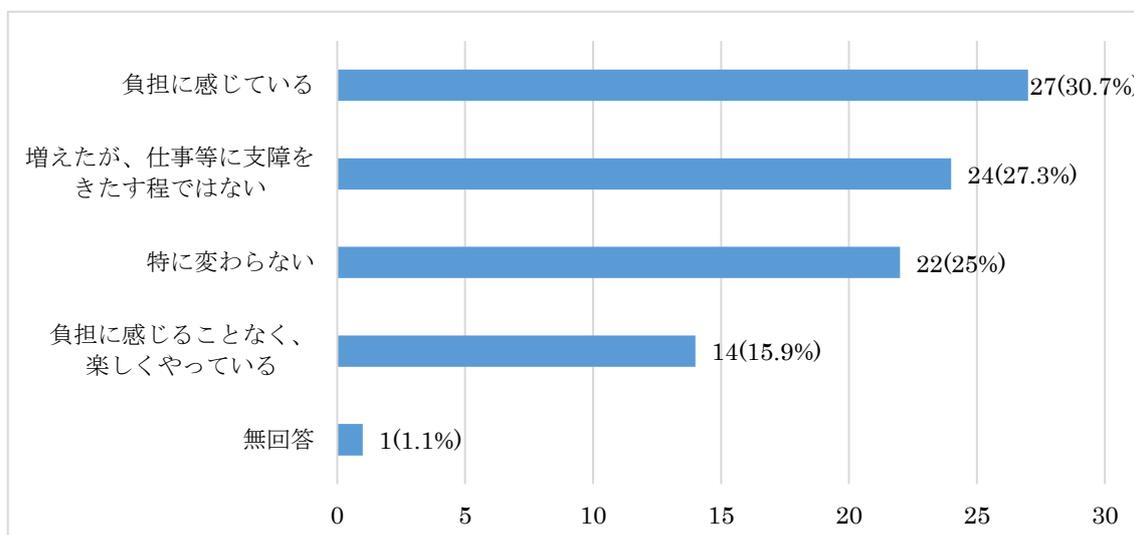
「自身の今後」について不安や課題と感じている回答者が最も多く 57 人（64.8%）、次いで「自身の仕事」が多く 46 人（52.3%）でした。



問7 新型コロナウイルスの影響により、家事や育児の負担は増えましたか？

回答数 88 件中

家事や育児に「負担に感じている」の回答者が最も多く 27 人 (30.7%)、次いで「増えたが、仕事等に支障をきたす程ではない」の回答者が 24 人 (27.3%) でした。



問8 増えたと答えた方へ 具体的にどのような負担が増えましたか？

■子育て・教育

- ・ 3食の食事と買い物
- ・ 栄養も考えた 3食を用意する。
- ・ 2人目の妊娠出産で保育園が自粛になり、体調が思わしくない中の育児
- ・ 家事、子どもの勉強、休みが増えた夫への対応、実家の介護
(まとめて準備するため)
- ・ 日中子ども達と過ごすため、仕事を子ども達が起きるまで（早朝）にしなければならないので体力的にキツかった。3食バランスの良い食事を考えるのも大変だった。
- ・ 夫が単身赴任の為、家や子どものことは、1人で動かないといけない。家事は、子どもにも手伝ってもらっている。
- ・ 子どもが家にいることによる食事の心配。仕事に行く前に昼ごはんを作り置きするなどのいつもにはない仕事が増える。仕事に行かないといけないので留守の間の防犯面の心配。親が留守にする日々が長い分、基本的生活習慣の乱れの心配。子どもたちがずっと家に閉じ込められていることからの精神的ストレス。学習面の遅れ。総合的に肉体的な負担というより、精神面、心配などの負担が大きかった。
- ・ 子ども達が外出できない、友達に会えないので、いつも以上に遊びを提供し、楽しませようと考えていることが、日々負担になってきている。
- ・ 公園などへ行けないことでの、出来る範囲での遊びを考える。

- ・自由に遊べずストレスを抱えた子ども達のお世話はとてもしんどく精神的に参る。
- ・子どもとの関わりが濃くなり過ぎている。逃げ場がない。
- ・子どもの課題の確認と丸つけと直し等の学習面のサポート
- ・全然勉強をしようとならないので非常にストレス
- ・食事と子どもの学業や生活習慣、オンライン環境設定のサポート
- ・宿題のみまもり、兄弟ケンカの仲裁、外出自粛などによる子どものストレスとのつきあいが大変だった。
- ・子どもの勉強が遅れないように今まで以上に指導が必要になった。
- ・甲賀市の対応で、小学生が家庭でみる子と学校で預かってもらえるのがわかれたこと。児童クラブでお金を払っているならわかるが、無料で限定して預かってもらえるのはおかしい。

■仕事・経済

- ・休校で子どもが家にいるため、出勤の調整に苦労している。
- ・仕事量が増えた。
- ・休校中の子どもを見ながらの在宅勤務
- ・経済的な面

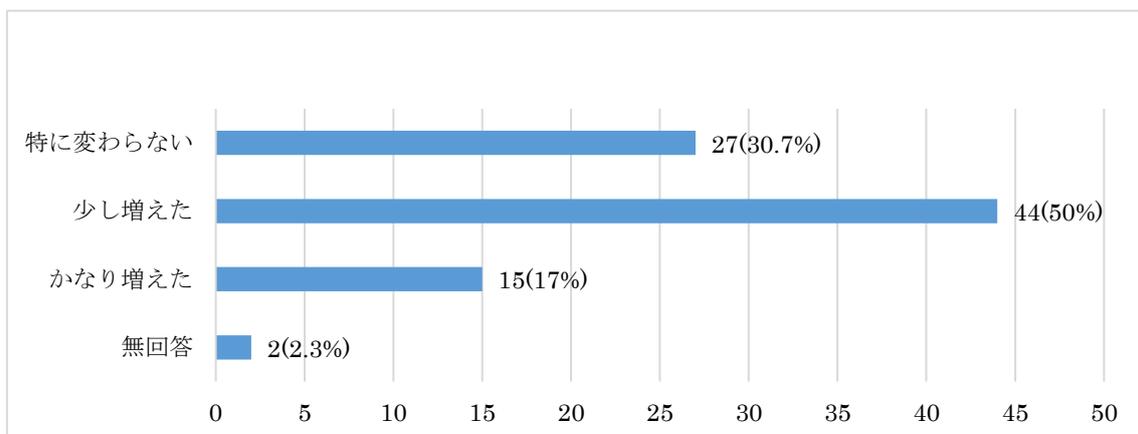
■その他

- ・同居でない高齢の両親の世話

問9 新型コロナウイルスの影響による、家計の出費について教えてください。

回答数 88 件中

家計の出費が「少し増えた」および「かなり増えた」の回答者はあわせて 59 人 (67%) でした。



■生活費

- ・食費、光熱費、教育費
- ・家にいる機会があり夫が仕事休みの日もあつて食費が増えた。

- ・ゲームばかりしているので電気代がかなり高くなった。また子ども達のお昼ご飯で食費も跳ね上がっている。
- ・ストレス発散で美味しいものを食べる事が多く食費がかなり上がった。
- ・うちで快適に過ごすために家電を買った。
- ・衛生用品、マスク、石鹸、レトルト食品の購入費
- ・洗濯物の増加による光熱費
- ・本やレンタルDVDなど家庭内で過ごすための物品購入やレンタル費
- ・気分転換にテイクアウトを頼むことが増えた。出かけられないので子ども達はお菓子を買うことが楽しみだった。
- ・家から出ない分、レジャー費や習い事にお金がかからなくなりましたが、その分家にいる時間が長く、私も留守がちなので、保存食を買うなど食費にかなり出ていくようになった。
- ・DIY の材料、植木や花など普段できていなかったことをしているため、まとめて出費が増えた。

■子育て・教育費

- ・子ども達の退屈しのぎのおもちゃを買った。
- ・家で遊ぶための玩具や外遊びグッズを買った。
- ・子どもへの本代
- ・大学生の子どものバイトが無くなったので仕送りが増えた。

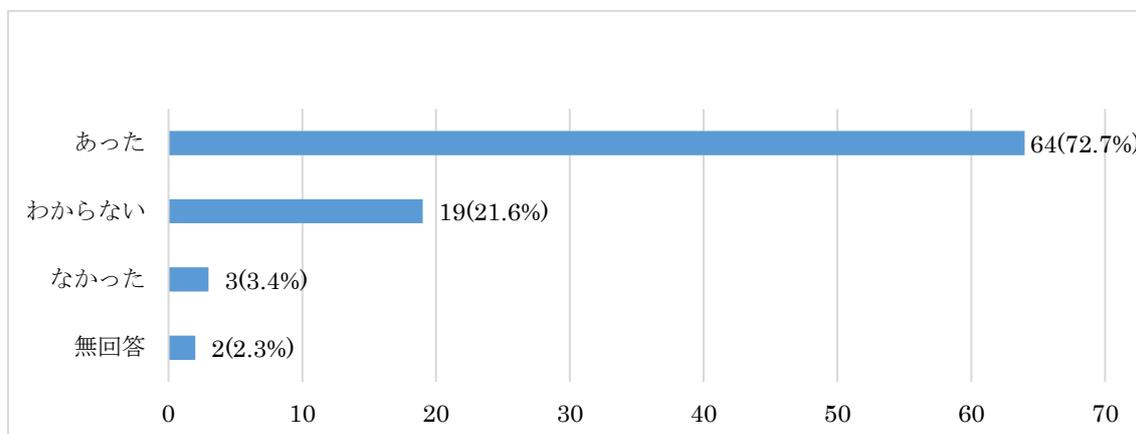
■その他

- ・4月から私がパートで出始めた為

問11 新型コロナウイルスによる自粛生活等によって、気づきや学びがありましたか？

回答数 88 件中

気づきや学びが「あった」の回答者はあわせて 64 人 (72.7%)、「わからない」および「なかった」の回答者はあわせて 22 人 (25%) でした。



問12 気づきや学びがあったと答えた方へ 具体的教えてください。

■子育て・家族

- ・日々、何となく過ごしていたことの反省
- ・日々の何気ない生活もとても大切だということ
- ・家族と一緒にいるかけがえない時間のありがたさ
- ・家族を含め、人とのつながりが薄くなっていた、後回しになっていた。
- ・身近な繋がりが大切なこと
- ・家族との絆が深まった。
- ・家族への感謝
- ・上の子が下の子の世話をしっかりみてるようになっていた。
- ・子どもとの接し方
- ・子どもの成長
- ・子どもが逞しくなった、家事などスキルが身に付いた。
- ・子どもが自分から洗濯や料理をしてくれるようになった。普段が有難い状況だと思えた、子どもはやはりその時期に集団生活で学ぶ事や考える事が多いことに気がついた。
- ・子どもとの家遊びの工夫
- ・子どもと食育の機会が増えた。
- ・普通の生活を送れることのありがたさ。安心安全な世の中って何だろうか。自分の手や行動で我が子を守ること。

- ・テレビやインターネットのある生活が当たり前になっているが、我が家是对応できておらず、今後のことが不安になった。（もしオンライン授業やオンライン申請が当たり前になったら生きていけない…）
- ・命の大切さ。自分の行動ひとつでまわりの人たちも守れるということ。がまん。なによりも子どもといる時間がいつもよりも長く、いろんな成長をしていたことに今やっと気付いたり、お手伝いや勉強を教え合ったりなど、親が留守な分兄弟で助け合いながら過ごしていることも増えて仲良くなった。
- ・子育て支援センターの有難さ
- ・教育環境のありがたみ
- ・勉強の教え方が難しい、時間に追われている。
- ・子ども（学校・学習）に関して。学校教育や現場にもっと積極的なICTの導入が必要だと感じた。ICTの導入により今回のような事態や不登校児に対しても学習の遅れや進捗度、学習内容に関する理解度など事細かなデータ習得とサポートが可能な上に、プリントを各家庭に配るなどの人員に頼ったやり方、先生方の限りある業務時間の効率化も図れるのではないかと思う。
- ・毎日時間に追われる生活をしていたが、時間的、体力的にも余裕ができ、本を読むなど自分の学びの時間を持つことができた。今まで子どもに料理など、家事を教えるのが不十分だったが、一緒に料理をしたり子どもに夕飯作りを任せたりすることができ、良い時間となった。家の掃除断捨離が進み気持ち良く生活することができた。家事、子育てなど生活の部分を整えることができ、精神的にも安定した。家族も含め人間として豊かな生活ができていたと思い、専業主婦の仕事は、大変意義のあるものだとこれを機に実感した。今回をきっかけに仕事を調整し時間に追われる生活を考え直したいと思う。
- ・テレビを見るとしんどくなる。洗脳されてしまいそう。真実はテレビにはないと感じたので自分の五感をたよって生きていた。
- ・手洗い、消毒の大切さ
- ・普段の浪費

■健康

- ・家族の健康、仕事があることに対するありがたさ
- ・健康の大切さ
- ・睡眠時間を確保する大切さを痛感した。今までの家族との関わりが良くも悪くも顕在化した。
- ・栄養面にしても給食は本当にありがたいものと身に染みた。

■仕事

- ・時間の使い方が、合理的になった。
- ・子どもが留守番できるようになり、私も育児しながらちゃんと働けることを実感した。

- ・オンラインで済ますことで、時間や労力が省けて効率が上がった。リアルなコミュニケーションも必要だが、今後はオンラインも活用していきたい。
- ・他者を思いやる気持ちが溢れ、お互いを大事にすること。自分自身や事業を考える時間が増え、喜んで頂けるものを作っていきたい気持ちが更に強くなった。

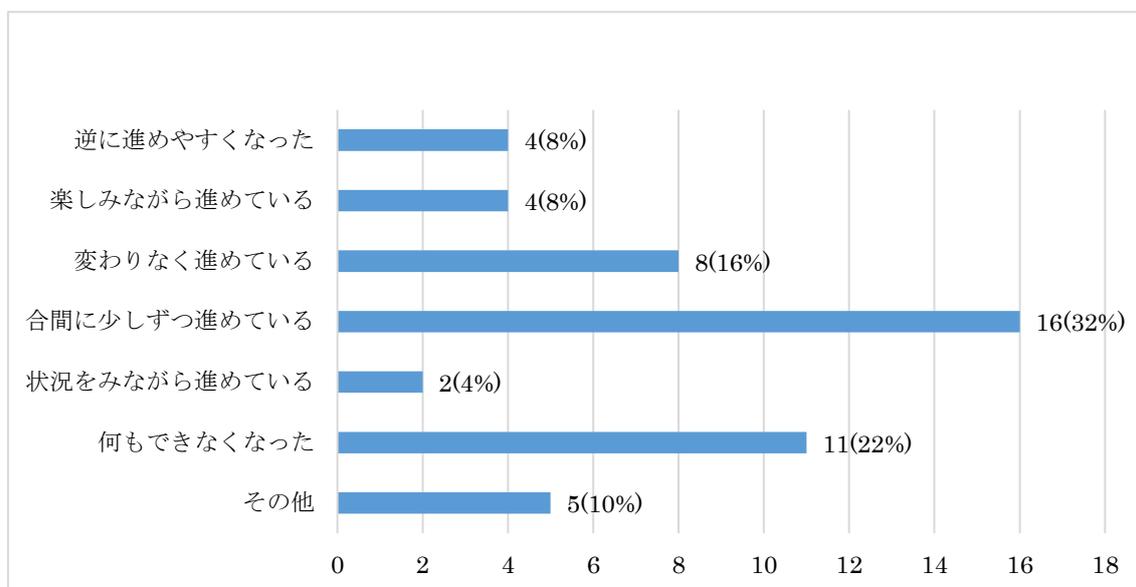
■その他

- ・自分のことをしっかり知ることができた。
- ・自分が大切にしたいことはなにか考えたりした。
- ・本当の自分と繋がるのが、今1番やりたいことだと分かった。
- ・私の考えは他の人とは違うという気付き
- ・考え方、感じ方、捉え方は人それぞれ違うということなど。
- ・いろんな価値観の人がいる。
- ・人の心の弱さと強さ
- ・当たり前が当たり前では無かったこと。自分の日々は自分以外の人達が支えてくれているから成り立っていると言う事を改めて気付けた。
- ・自由が奪われることにより、漠然とした不安に取り巻かれて、普段なら何でもないと過剰に反応してしまう。自分のやりたいことをやりたいときに好きなだけ出来ることは、当たり前な事ではなく、様々な人や物、環境に支えられていることを学んだ。この状況が終息しても、感謝を忘れないようにしたい。
- ・なってしまったことは仕方ない、プラスに考える。
- ・防災準備の必要性
- ・メディアとの関わり方
- ・政治のあり方
- ・各首長のキャラクター
- ・ご近所付き合いの仕方
- ・マスクなどが入手困難となること
- ・ネット利用が増えた事で、新たな利用方法や便利なサイトなど
- ・甲賀市の対応の悪さ
- ・オンライン化
- ・同調圧力の怖さ

問13 やりたいことや起業の準備を進めている方へ 新型コロナウイルスの影響により、やりたいことへの関心や起業の準備に変化はありましたか？

回答数 50 件中

やりたいことや起業準備が「進めやすくなった」および「進めている」の回答者はあわせて34人(68%)、「何もできなくなった」の回答者は11人(22%)でした。



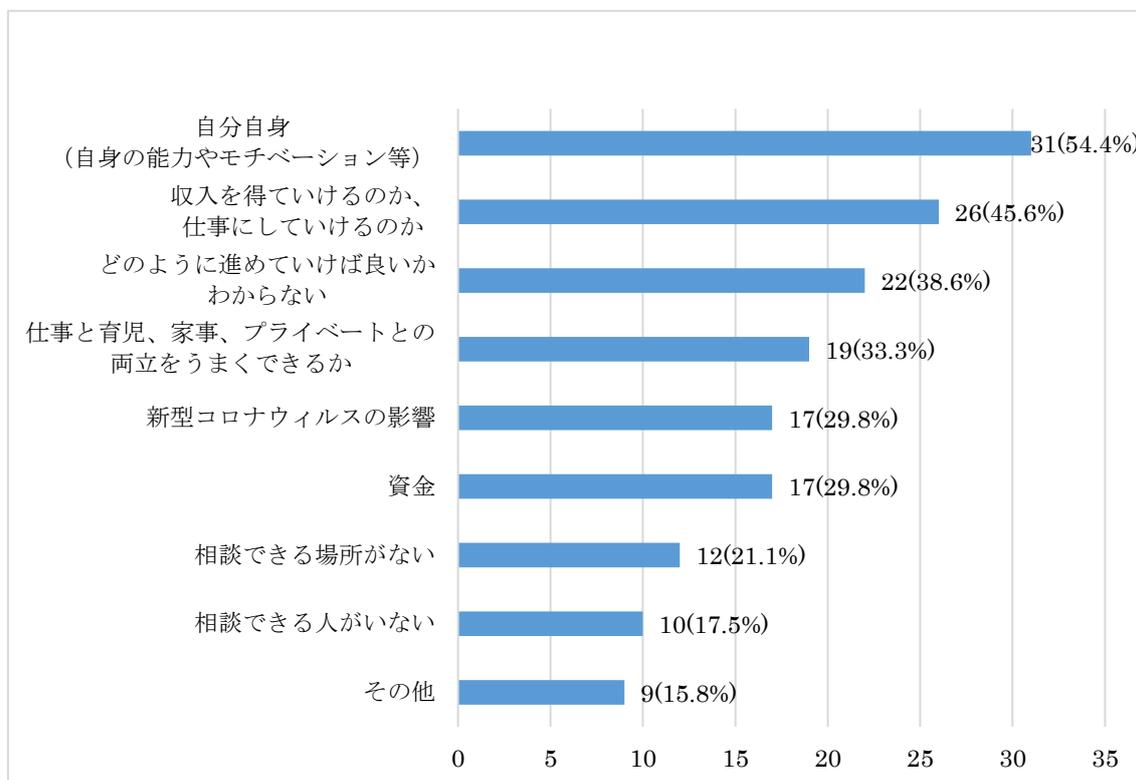
■その他の内訳

- ・熱が冷めつつある。
- ・新規事業を立ち上げることになった。
- ・オンラインで、繋がり講座もできるよう学んだ。
- ・立ち止まってしまった。心に余裕が持てない。でも、それが言い訳をしてるようで情けない。
- ・したいなという気持ちになった。

問14 やりたいことや起業準備を進める中で、不安や悩みだと思うことは何ですか？（複数回答可）

回答数 57 件中

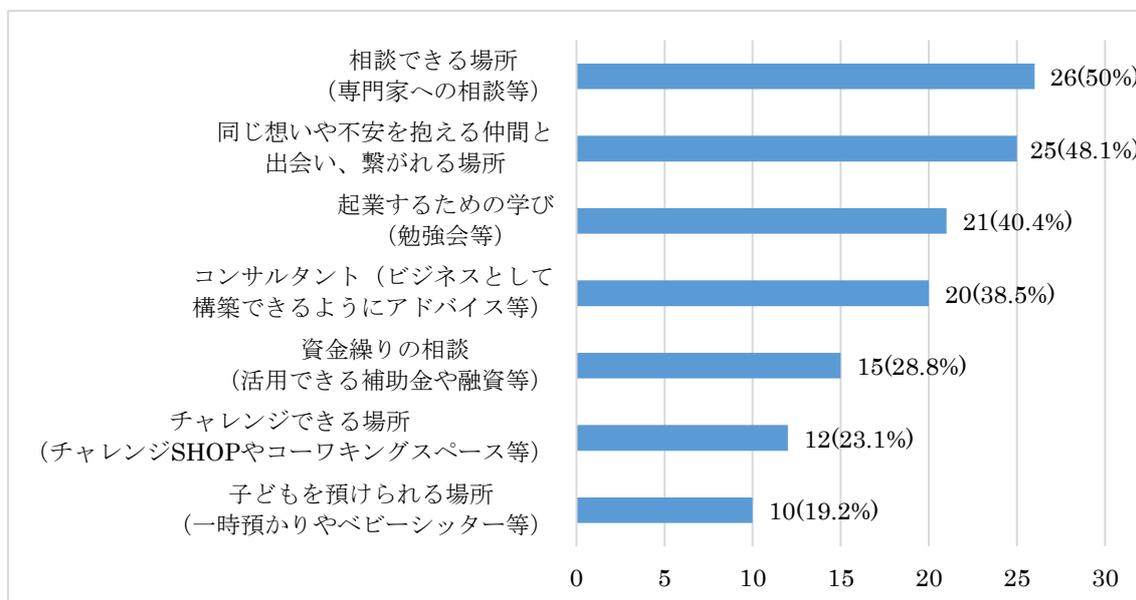
「自分自身（自身の能力やモチベーション等）」を不安や悩みとした回答者は最も多く 31 人（54.4%）、次いで、「収入を得ていけるのか、仕事にしていけるのか」の回答者は 26 人（45.6%）でした。



問15 その不安を解消できるために、何を必要とされますか？（複数回答可）

回答数 52 件中

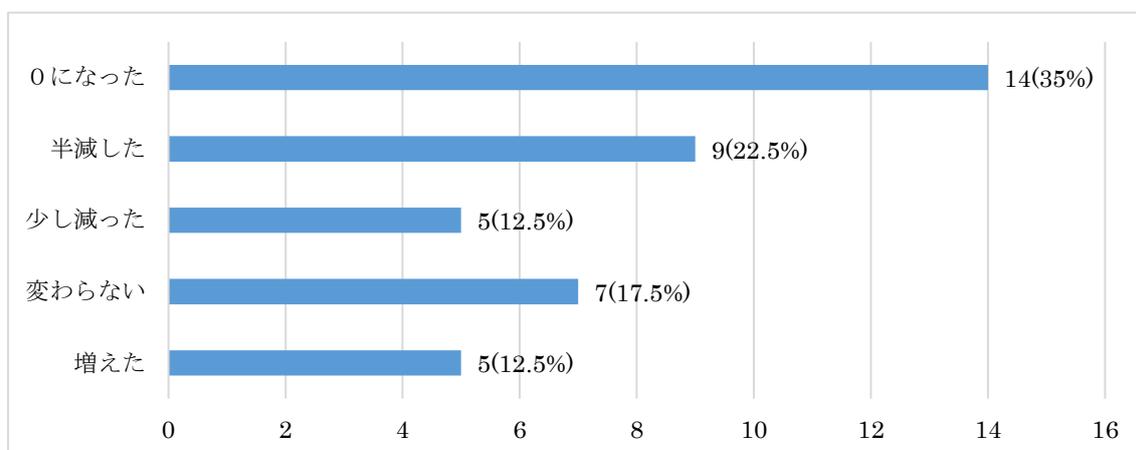
不安を解消するために、「相談できる場所（専門家への相談等）」を必要とする回答者が最も多く 26 人（50%）、次いで、「同じ思いや不安を抱える仲間と出会い、繋がれる場所」の回答者は 25 人（48.1%）でした。



問16 起業準備中、又は個人事業主の方へ 新型コロナウイルスの影響により、仕事の量の変化はありましたか？もしくはこれからありそうですか？

回答数 40 件中

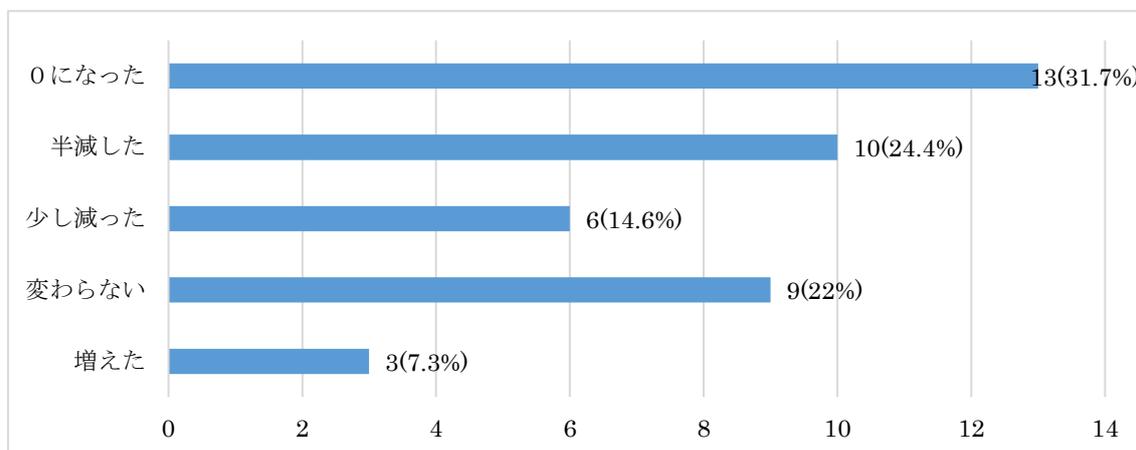
「0になった」、「半減した」および「少し減った」の回答者はあわせて 28 人（70%）、「変わらない」および「増えた」の回答者は 12 人（30%）でした。



問17 起業準備中、又は個人事業主の方へ 新型コロナウイルスの影響により、売上の変化はありましたか？もしくはこれからありそうですか？

回答数 41 件中

「0になった」、「半減した」および「少し減った」の回答者はあわせて 29 人（70.7%）、「変わらない」および「増えた」の回答者は 12 人（29.3%）でした。



問18 仕事量、売上に変化があったと答えた方へ 具体的にどのような変化がありましたか？（数字等具体的な変化を表せる場合はそれも教えてください（可能な範囲内で結構です））

■減った

- ・フリーランスで翻訳や校正の仕事を受けているが、企業の活動休止を受けて、受注が激減した。
- ・休業要請が出たために仕事ができなくなってしまった。
- ・マルシェがすべて中止となり、商品が売れる場所がなくなった。
- ・公共施設を利用しての集まりや、対面の仕事がほぼなくなった。
- ・顧客が減った。
- ・仕事が出来ない。
- ・ワークショップの開催が出来なくなり、その分の収入が減った。
- ・全く開催できなくなった。
- ・仕事場が休業状態に入ったので全くの無職状態になった。
- ・店舗営業をなくし、イベント出店がなくなり、委託販売のみだったので7割ほど減った。
- ・サロンをクローズせざるを得なく、宣伝も出来ない。

■変わらない・増えた

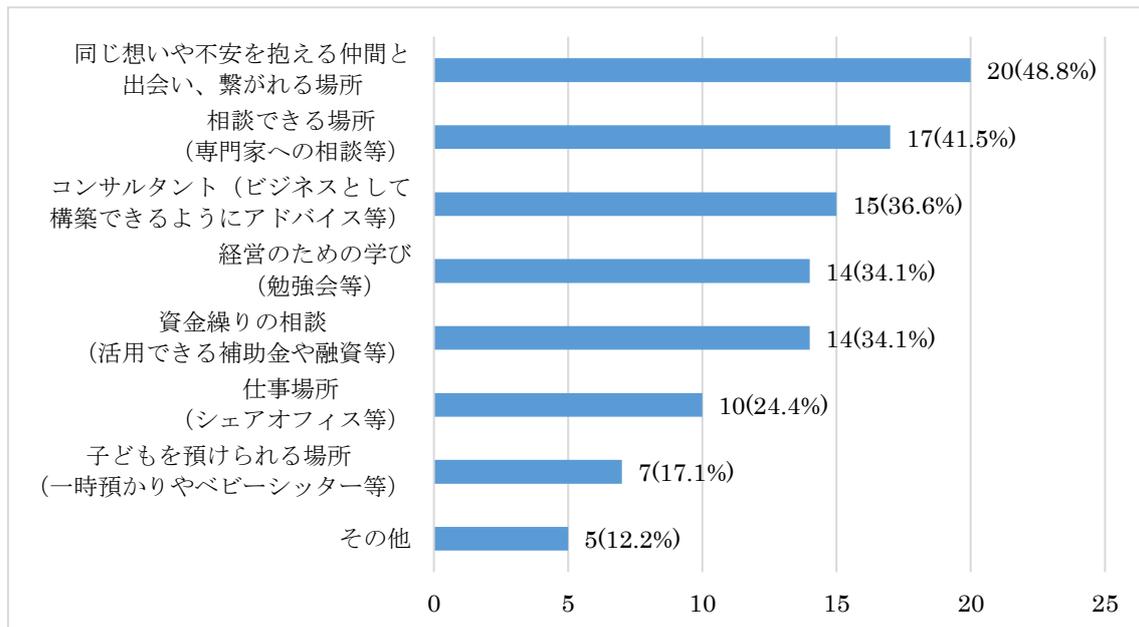
- ・テイクアウトで多くの利用をいただいた。
- ・テイクアウトする方が増えたのでいつもより仕事量が増えた。

- ・ 自宅イベントの開催とサービスの提供をオンラインに切り替えるために、通常開催より集客が約3割落ちたが、オンライン開催により、リアル開催で参加しづらかった方の参加が増えたので、デメリットばかりではない。

問19 不安を解消できるために、何を必要とされますか？（複数回答可）

回答数 41 件中

不安を解消できるために、「同じ想いや不安を抱える仲間と出会い、繋がれる場所」が必要とした回答者が最も多く 20 人（48.8%）、次いで、「相談できる場所（専門家への相談等）」の回答者は 17 人（41.5%）でした。



問20 甲賀市がこんな町になったら嬉しい！というイメージがあれば教えてください。

■子育て・教育

- ・ 子育てしやすい町、子どもがいても働きやすい町、ずっと住みたいと思える町、将来また戻って住みたいと思える町
- ・ 未来の子ども達が安心できる、身近な人との繋がりがあある町
- ・ 子ども達が住みやすい町。人が優しくお互い助け合える町
- ・ 子育て世帯にやさしい町
- ・ 子育て支援が充実
- ・ 子どもが伸び伸び暮らせる町。小中学生が「学校が自分に合わない」と思った時、気軽に地域外の学校を選べるような仕組みや雰囲気があればいい。現在も制度はあるようだが、相当の事情や覚悟がないと使わないようなムードがある。
- ・ 子どもが安心して過ごせる町。不審者対策を増やしてほしい。（通学路にハンブをつけるなど）

- ・ここも一りのような施設（子どもが退屈しない）の中で、ママの身体をケア出来る施設が欲しい。
- ・色々な人がいるということが当たり前で寛容な町。赤ちゃんが泣いても余裕がある。
- ・多胎児にやさしい市。結構増えてきたと思う。
- ・誰もが働きやすい町、みんなが安心して暮らせる町
- ・共働き家庭が安心して働きながら子どもを育てられる、子ども達も親以外にも頼れる大人がいっぱい居るという安心感が持てる町
- ・子育てしやすい、女性が生き生きと仕事もできる町、高齢者から赤ちゃんまで繋がりを大切にできる、どんな人も取りこぼしなく、安心して生活できる町
- ・いき場のない子どもや悩みを抱える親の居場所づくりを応援してもらえる町

■女性活躍

- ・明るく、元気で、女性が働きやすい町
- ・いろんな働き方がいろんな業種で当たり前になる、女性も仕事と育児を両立できる町
- ・女性が元気で女性の活気が良い町はいろいろな面や意味で『豊かで良い町』だと思ふ。女性にとって暮らしやすく・子育てしやすく・働きやすい町になってほしい。
- ・女性も仕事と育児を両立できる町
- ・若い世代や女性向けの広報紙がほしい。おしゃれなお店や美味しいお店、イベント情報、ホビー教室などの紹介など、また、わかりやすいイラストマップなど。甲賀市のいろんなところに置いてあるとうれしい。他所からの方にもオススメしやすい。

■政治・経済

- ・忍者や信楽焼などを通してもっと注目される町にしたい。
- ・人が集まる活気のある町
- ・活気に溢れる、外食やレジャーのできるお店がもっと増えてほしい（おしゃれなお店、リーズナブルで美味しいお店、子どもが喜ぶお店）
- ・児童手当が世帯主ではなく、本当に世話をしている人に振り込まれてほしい。
- ・観光地やお土産など喜んでもらえるものがあればいいなと思う。
- ・市民に寄り添った町であってほしい。
- ・災害に強く、老いていくことに不安がない町
- ・観光より、移住促進をしてほしい。
- ・個々の家庭で課題に取り組むのは限界が来ていると思う。家事軽減・子育て（中高生含む）や介護の悩み、労力の負担が軽減される行政サービスが充実し（平日の日中以外に夜や土日に拡充・企業など民間サービス含む）、サービスの利用に抵抗がなく、「困った時は助けてほしいと遠慮なく言えること」が当たり前の社会になること。

- ・ 自営業者への支援
- ・ 信楽の若手陶芸家が生計を立てていけると嬉しい。たくさんの陶芸家が学び良い作品を送り出してほしいと思う。
- ・ 一度離職しても再就職しやすい町
- ・ 専門家の相談やマッチング出来るサイトや場所などの起業支援の充実

■環境

- ・ 人や環境にやさしい町
- ・ 田舎ならではの自然で楽しめる機会や場所があると嬉しい。自然の中での遊びを子どもと経験したい。
- ・ 自然を生かした施設が各地域にあったら良い。

■まちづくり

- ・ 田舎に人が集まれるような魅力ある場所づくり（自然と遊べるイベントやマルシェの発信など）
- ・ 国際交流が盛んな市（せっかく忍者や陶芸と海外に誇れるものがある）
- ・ 昔のように信楽に人が集まる活気がほしい。信楽焼きを使う飲食店が増えてほしい。
- ・ ボランティア活動の支援を充実している町
- ・ 女性や若者の意見・アイデアが出せる、一緒に考える機会のある町
- ・ 企業、個人、関係なく助け合える、みんなが繋がれる町
- ・ やりたい事を自由にやって、人に役に立ち循環していける町
- ・ 閉塞感のないイノベーティブな町
- ・ 色んなことやモノをシェアし合える元気な町
- ・ のりがいい！頭が固くなく柔軟な対応
- ・ 一人一人を大切に作る健康的な町
- ・ 平等に幸せを感じられる町
- ・ 隣の人に優しくできる町。そうすれば隣から隣に、町中が優しくなると信じている
- ・ 今と変わらず人に優しい甲賀市であってほしい。
- ・ 他の市が羨むような町
- ・ 他府県の友達から、ここの人々は優しい、親身になってくれる、とよく聞く。このまま自分にも他人にも優しい町が続いてくれたらいいと思う。
- ・ 高齢になり、車に乗らなくても生活できる町
- ・ 車を所持してないので公共交通の整備をお願いしたい。コロナで利用者が減少したので、鉄道やバスの減便が行われないか心配
- ・ 室内、屋外で気軽に活動できる場所があれば、うれしい。体育館やまる一むなど市の施設の空き状況がネットなどで見られたら、気軽に利用できる。
- ・ 今でもとても住みやすい場所だなと感じている。

- ・リスがたくさん住む自然公園がある。（名古屋の東山動物園のリスコーナーみたいなもの）。手仕事の名人がたくさんいて、子ども達にたくさんの体験ができる場を提供でき、大人も子どもも楽しめる甲賀市の小学生ならみんな味噌づくりが得意とか、うどん打ちができるとかで話題になる。→注目を浴びる。→甲賀市アピール→子育ての町というイメージをもってもらう。保育園の体操着は忍者服にする。東京に比べて職種が少ないので、最先端の職業をもっと勉強する機会を作る。
- ・とても素敵な町だと思う。今後も更に、色々な状況に置かれた方に寄り添っていける町になると嬉しい。
- ・自分の地域をしっかりみんながみることができたら良い町になると思う。

問21 甲賀市に期待すること等ありましたら、ご自由にお書きください。

■子育て・教育

- ・子育て支援センターからの通知はありがたい。実際に赴いて情報を得ることができなかった。しかし、ワンオペの私には（ベビーカーもありませんでした）子どもや多胎児の集まりに参加することすらほとんど叶わなかった。あと少し、踏み入って手を差し伸べて欲しかった。里帰りして居た時、過去の事例があったためか、実家まで支援センターの方が、話を聞きに来てくださった。そして、市在住者向けの多胎児向けレンタルサービスの話もして下さったので、住民票を移すことも考えた。
- ・幼稚園・保育園がとても選びにくい。地域によって私立しかなく公立でも保育園で、とても迷うし、選択する余地もない。こども園のような長時部と短時部が合同になった園に通っていると、子ども同士の中でも長時部の子、短時部の子、と区別をしているのが気になる。今回のコロナで幼稚園は休園になっているが、保育園は開園しているので、未就学児の中でも出来ること出来ないこと、友達関係など差ができてしまっているのではないかと心配になる。ずっとモヤモヤしているが、仕方ないことなのか。
- ・未就学児の保育園受け入れ人数や保育料の検討
- ・給食費無料化
- ・学校現場の人員増加、子育て世代の部活や業務の軽減や時短支援
- ・中学3年生まで医療費無料化
- ・コロナで県内の図書館が次々閉館する中、甲賀市の図書館では予約図書を貸してもらえたことに、とても嬉しく感じた。よそと足並みを揃えるのも大事だが、こういった試みもできる範囲でやって頂けたら嬉しい。
- ・子どもが小さい時にパニック障害になり、現在仕事をしていない。甲賀市でもパニック障害への理解が進むことを望む。
- ・若者が町にとどまるように、専門学校や大学教育を充実
- ・子どもは優遇されることが多いが、1番お金がかかる高校生大学生にも目を向けてほしい。

- ・子育て世代としては、今後も子育てに関する支援をお願いしたい。赤ちゃんから高校、学生くらいまで。子どもをみんなで育てる、何か困ったことがあれば家族以外で相談できる場所がある。子育てをされていて感じるのは、子育ては孤独で母親ひとりでは限界がある。子どもも家族を中心に様々な人と関わりながら育てていけるのがいいかなと思う。子育てしやすい環境作りをお願いしたい。そして、全世代が安心して暮らせるようにお願いしたい。子どもの安心にもつながると思う。
- ・この度のコロナの対応として、児童手当の増額など子育て世代にはありがたかったが、子育てが終わりつつある高校、大学生を持つ世代への学費の補助や、一般世代への光熱費の補助などあればいいと思う。
- ・子どもが発達障害、不登校。不登校児は全国で14万人と毎年増えてきている。不登校の子ども達は、段階もあるが、心の調子と体の調子も崩していく。それに寄り添い続けるのは親のみで大変な生活。子どもが社会の宝というなら、全国に先がけ、不登校児が健やかに暮らせるように一度子ども達の立場になって真剣に考えて頂きたい。そして、できることを少しでもいいからして頂けたら嬉しい。学校でできない経験のための補助金など、暗闇の中を過ごす子ども達が、大きくなるのを待つのではなく、できることを是非！！お願いしたい。
- ・今の市長さんになってから子ども関係のことに力を入れて下さっているように感じる。やっぱり子育て世代の方がトップに立ってくださることは嬉しい
- ・今回のことで、市長がアグレッシブに対応して下さる方で本当にありがたい。ホームページ等で情報を伝えて下さるのも早く、また詳しくて助かった。保育園の給食費減額や日割り対応に助けられた。図書館が予約本だけでも貸し出ししてくれたので子どもは退屈せず、自粛の日々に対する不安も軽減できた。対応して下さった職員さんも本当にありがとうございます。

■政治・経済

- ・イクボス宣言しているはずの会社でも、実際のところどうなのか。サービス残業、有給休暇が取れず、働く男性もしんどいけれどその家族もとてもしんどい。
- ・情報発信の仕方を期待
- ・これからの時代は地方分権なのに、国や県の言いなりでなく、自ら考えた政策を通してほしい。
- ・古い価値観に縛られず、思い切ったことをやってほしい。
- ・マニュアル通りではなく臨機応変に対応していただけると生きやすくなる。
- ・市民の声をしっかり聞き届ける行政
- ・市長のスピード感ある市政、市民の意見に真摯に耳をかたむける姿勢にこれからも期待
- ・市長が若いので、一生懸命甲賀市を活気づけようと頑張ってくさっていると思う。ただ若いゆえに気付かない事や、至らない事もあると思うので、様々な年代の方々の話をよく聞いて、行政に反映してもらえればと思う。

- ・各町に必要な事を、積極的に提案、考えてください。それが市全体の盛り上がりにつながったと思う
- ・女性活躍や子育てばかりではなく、もっと広い範囲でみるべき。
- ・他市にとられるのではなく、新しいチャレンジを含めた独自の取り組み
- ・このように積極的に意見や想いを聴いてくれる場を設けて下さり本当にありがたいと思う。が、問題は集めた声を実現化させる事で、既存のネットワークや規程等との調整などココが一番難しいところだと言うのも理解しています。それでも1つでも多くの声が市政に反映されれば、市民にも「自分たちの手でつくる・育てる町＝まちづくり」への意識も高まっていき、自分たちの暮らす町への【愛着】も強くなるのではないかと思います。どの様な市民の声が実現されたかの見える化・見せ方と自分達の暮らす町がどんなに豊かで愛する価値ある町であるかの魅せ方を期待する。
- ・自治会費を下げたい。
- ・自然と利便性を兼ね備える素敵なまちだと思っている。空き家を、更地にして活用できる方法を考えてほしい。更地にしても税金が上がらないなど。
- ・ビジネス道場（きびしめの実践研修）
- ・大人も子どもも学べるコワーキングスペースがあればいい。サラリーマン、個人事業主、主婦など誰でも利用できて、学ぶこと、働くことの価値や得られる喜びを知る場所として、塾や学校とは違った場所があればいいと思う。
- ・以前に他市の商工会が主催する起業の勉強会に参加した。そこでは中小企業などを支援する専門家や税理士さんによる起業相談や県の助成金の説明もあり、素晴らしいと感じた。私はそこで起業することを決意した。甲賀市においても、経験豊かな専門家の方の支援を願う、そして甲賀市が良くなることを期待する。

■環境

- ・新しい魅力を作るのではなく、今ある魅力を引き出してほしい。環境問題にも積極的に目を向け地球にも優しい町になってほしい。
- ・自然が豊かで、個人個人の能力を尊重出来る町。フィンランドと姉妹都市など

■その他

- ・一緒に頑張っていきましょう。
- ・市役所、市民と境界線を作らず、一緒に人にも地球にも優しい市！世界モデルになりましょう。
- ・合気道をしているが、今、稽古できずに残念。今年度は新しい体育館での活動を楽しみにしていた。スポーツ活動の支援を変わらずしていただけたら嬉しい。
- ・滋賀県には多分まだないお店をしたいと思っているので、話を聞いてほしい。